



lesson59 … that (接続詞) の使い方

※ 等位接続詞(and, or など)については → 【lesson60】の下部の説明を参照のこと。

- (1) I think (that) you need the car. 『私はあなたはその車を必要だと思います。』
- (2) I know (that) Emi is kind. 『私はエミが親切だということを知っています。』
- (3) We hope (that) she'll come here. 『私たちは彼女がここに来ることを望みます。』
- (4) Do you think (that) he's happy? 『あなたは彼が幸せだと思いますか。』
- (5) I don't think it'll rain today.  
『私は今日雨が降らないと思う(←雨が降るとは思わない)。』

think のうしろに that が省略されている文。  
この rain は「雨が降る」の意味の **動詞**。

◎ 接続詞の <that ~> 「~ということ」

☆ ~の部分には <主語 + 動詞> が入る。

接続詞の that は省略することができる。

I think (that) he is busy. のように使う。

think (that) ~ 「~(ということ)を思う」

know (that) ~ 「~を知っている」

say (that) ~ 「~と言う」

hope (that) ~ 「~を望む」

believe (that) ~ 「~と信じる」

※ 「~ではないと思う」という表現は  
英語では「~だとは思わない」と書く。

I don't think (that) he is happy.

「私は彼が幸せではないと思う。」

(←「私は彼が幸せだとは思わない。」)

<<時制の一致>> ※ that の前〔主節〕の動詞が過去形になると、  
that の後ろ〔従属節〕の動詞も過去形になる。

I thought (that) he was kind.

「私は彼が親切だと思いました。」

主節だけを過去形で訳し、従属節は過去形にせずに訳すとよい。